

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 国語 科目 文学国語

教科: 国語 科目: 文学国語 単位数: 3 単位

対象学年組: 第3学年 A組~ H組

教科担当者: (ABEH組: 林田) (CDFG組: 林田) (CDFG組: 今里)

使用教科書: (高等学校 標準文学国語 (第一学習社))

教科 国語 の目標:

【知識及び技能】我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝

【学びに向かう力、人間性等】我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 文学国語 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 時 数
			話	聞	書	読					
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の心情と行動の関連性について粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。	・指導事項 文学的作品の読解 (昭和後期の小説) ・教材 「ナイン」井上ひさし ・一人1台端末の活用 等 語句の意味調べ	○	○	○	【知識・技能】 登場人物の心情を考察する作業を通して、十分に語感を磨き語彙を豊かにできている。 【思考・判断・表現】 語り手の視点を踏まえて、登場人物の心情と、エピソードとの関連性を考察する作業を通して、作品内容を十分に解釈することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体性をもって粘り強く根拠立てて登場人物の心情と行動の関連性の考察に取り組んでいる。	○	○	○	18	
	定期考査						○	○		1	
	B 単元 【知識及び技能】 文学的文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 解釈の多様性を考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 心情の変化を捉えている。	・指導事項 文学的作品の読解 (昭和前期の小説) ・教材 「山月記」中島敦 ・一人1台端末の活用 等 語句の意味調べ	○	○	○	【知識・技能】 表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味を踏まえて作品の主題を考えている。 【思考・判断・表現】 教材全体の構成を段落関係から読み取り、学習課題に沿って表現の特色や登場人物の役割などを説明しようとしている。 登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 典拠となった文章と粘り強く読み比べ、主題の違いや作者の工夫をまとめようとしている。	○	○	○	17	
定期考査						○	○		1		
2 学 期	C 単元 【知識及び技能】 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の主題を粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	・指導事項 文学的作品の読解 (大正の小説) ・教材 「こころ」夏目漱石 ・一人1台端末の活用 等 語句の意味調べ	○	○	○	【知識・技能】 作品に共感したり、疑問をいだいたりすることを通して、読書の意義と効用についての理解を十分に深めることができる。 【思考・判断・表現】 場面別に「こころ」の主題を考察する作業を通して、作品内容を十分に解釈することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体性をもって粘り強く周囲と協調しながら話し合いに取り組んでいる。	○	○	○	28	
	定期考査						○	○		1	
	D 単元 【知識及び技能】 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の主題を粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	・指導事項 文学的作品の読解 (大正の小説) ・教材 「こころ」夏目漱石 ・一人1台端末の活用 等 語句の意味調べ プレゼン資料作成 プレゼンテーション	○	○	○	【知識・技能】 作品に共感したり、疑問をいだいたりすることを通して、読書の意義と効用についての理解を十分に深めることができる。 【思考・判断・表現】 場面別に「こころ」の主題を考察する作業を通して、作品内容を十分に解釈することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体性をもって粘り強く周囲と協調しながら話し合いに取り組んでいる。	○	○	○	28	

